

# [下忍愛宕神社古墳]探訪レポート

ここが下忍愛宕神社/手前は調査隊の第二クルーザー



下忍愛宕神社拝殿







正面拝殿の左手の一段上がった所が本殿で、古墳の上に建っている



古墳時代後期の築造とされる



鴻巣市指定史跡

昭和二十四年一月十六日指定

愛宕山古墳

現状は、直径が二〇～三〇メートルで高さは約三メートルである。墳上に愛宕神社が祀られていることからこう呼ばれている。

後世において盛土したものと恐れられ、墳丘は大きく変形しているため原形がはっきりしない。

埴輪などの出土遺物は認められないが、現況から古墳時代後期（六～七世紀）の築造と推定される。周辺では、明用の三島神社古墳（前方後円墳）と下忍の宝養寺古墳が以前から古墳として知られている。

平成二十四年二月

鴻巣市教育委員会

文化財を大切にしましょう









墳丘上に建つ本殿





本殿の周りを廻ってみる









拝殿背面







裏手の児童公園から見る





境丘上の本殿背面



境内社日枝神社



さまざまな石造物



境内社天神



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/hukiage/atago.html>

<http://blog.goo.ne.jp/daidi/e/1da4dbdd183888f928f8ed871baf7640>

<http://paralleli.life.coocan.jp/kofunblog2/?p=2919>

[http://www.tesshow.jp/saitama/konosu/shrine\\_shimooshi\\_atago.html](http://www.tesshow.jp/saitama/konosu/shrine_shimooshi_atago.html)



インターネットより